

# 林業福島

No. 714

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 小檜山善継



2

2024

監修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ しなる耐震木



# 森林・林業の未来のために

福島県市長会会長  
相馬市長 立 谷 秀 清

『林業福島』を御覧の皆さまには、県内各地域の林業振興と森林管理に多大な御尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして御礼を申し上げます。

はじめに、令和六年元日に発生した能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表します。福島県は東日本大震災などの大きな災害を経験し、石川県内の自治体をはじめ全国からあたたかい御支援をいただきながら、復興の歩みを進めてまいりました。その御恩に報いるため、私たちの経験を活かした支援を届け、被災した地域の一日も早い復旧・復興に、力を合わせて取り組んでまいります。

また、県内では昨年九月の台風十三号により県内初となる線状降水帯が発生し記録的な豪雨となり、いわき市を中心に河川の氾濫などで大規模な浸水被害となりました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興に御尽力されております方々に深く敬意を表します。

さて、昨年は、五月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じとなり、感染や濃厚接触となった場合の外出自粛の要請といった行動制限がなくなつたことから、コロナ禍前と同様のイベントや地域行事が行われるなど、各地でにぎわいが戻ってまいりました。国内で感染が確認されて以降、献身的に御対応いただいている医療従事者の皆さまに改めて敬意と感謝の意を表しますとともに、皆さまにおかれましては、引き続き感染対策への御協力をお願いいたします。

さて、今年四月から森林環境税の徴収が開始されます。森林には、国土の保全や二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止等の多面的機能が期待されており、森林整備に必要な財源を安定的に確保する観点から、国民一人一人が等しく負担を分かち合つて森林を支える仕組みとして創設されました。なお、森林整備が緊急の課題であることから、国は令和元年から森林環境譲与税を自治体に交付し、自治体は適切な森林整備に取り組むとともに、その使い道をインターネットなどで公表しています。

今後、森林環境整備に対する国民の関心が高まると考えられます。福島県市長会としても県や関係機関と協力しながら、森林・林業の持続的かつ健全な発展のため取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

## 《も く じ》

### とびら

#### 森林・林業の未来のために

- 福島県市長会会長 相馬市長 立 谷 秀 清… 1
- 設立十周年記念式典・記念講演会を開催しました… 2
- 林業研究センターだより…………… 3～ 4
- 豊富な保証実績により経営をサポート  
～林業信用保証のご案内～…………… 5
- 山火事防止に努めましょう…………… 6

- 林業アカデミーふくしま研修日誌⑨…………… 7
- 普及指導員通信…………… 8
- 福島県林業労働力確保支援センターだより… 9
- 木連だより…………… 10
- 木の文化を育む⑤⑨…………… 11
- 木材市況・ふくしま東西南北…………… 12
- はなしのひろば・お知らせコーナー…………… 13

# 設立十周年記念式典・ 記念講演会を開催しました

## 福島県森林土木建設業協会

福島県森林土木建設業協会は、令和五年十二月十五日、設立十周年を記念してホテル福島グリーンパレス（福島市）において記念式典と記念講演会を開催しました。

式辞で石川俊幸会長は、「東日本大震災を契機として、前身である福島県森林土木建設協議会を発展的に解散し、新たに新規会員を加え、平成二五年五月三一日に設立して以降、東京電力原子力発電所の事故、新型コロナウイルス感染症、地球温暖化の影響により年々激甚化・頻発化する気象災害など、今までに経験したことのない事象に協会員一同総力で取り組んだ十年だった」と語りました。

また、林野庁では選ばれる森林土木事業（ESD）に向けての取組も始まっていることから、「適正工期、施工時期

の平準化、更なる設計積算の改善などを具申し、この森林土木事業をESDとして確立していきたい。我々を取り巻く環境は、働き手不足や後継者不足、時間外労働の上限規制など大変厳しい状況にあるが、安全・安心な地域づくりの為、協会員相互の連携を図り、福島県の発展に寄与すべく、従来以上の努力を重ねていく所存です」とこれらの抱負を述べました。

記念式典には、来賓として福島県農林水産部 沖野浩之部長（代理 鈴木秀一郎農林技術課長）、（一社）全国森林土木建設業協会 山藤浩一会長（代理 川野康朗専務理事）、（二社）福島県建設産業団体連合会 長谷川浩一会長（代理 鈴木武男副会長）、（公社）福島県森林・林業・緑化協会 小檜山善継会長をお招きしました。

また席上、これまで森林土木事業の振興と技術の向上に功労のあった次の会員を表彰しました。

- 前会長 会津土建㈱ 菅家 洋一氏
- 前副会長 ㈱石覚組 石井 敏也氏
- 前理事 草野建設㈱ 草野 清貴氏
- 元理事 ㈱水中組 水野谷正一氏

続いて、設立十周年を記念して刊行した記念誌を基に、設立の経緯、東日本震災からの復旧・復興のための活動や県と締結した『山地災害防止等支援活動に関する協定』に基づく活動等、当協会のこの十年の歩みについて、事務局長から説明がなされました。出席した七〇名余の会員は、設立当時のことや震災からの復旧・復興のために手がけた事業に思いを馳せていました。

### 【記念講演会】

講師 学校法人聖光学院

聖光学院高等学校 野球部監督

齋藤 智也氏

演題 甲子園への道

（野球道とおとした

人づくり、チームづくり）



石川会長のあいさつ



功労者の皆様の記念撮影  
(左から石井前副会長、菅家前会長、石川会長、草野前理事、水野谷元理事)



記念講演会

聖光学院高等学校 野球部監督 齋藤智也氏

高校野球とは全く関わりのないような土木建設業の団体からの依頼だと思っただけという前置きで始まった講演は、前置きとは全く逆の熱のこもった口調で語られました。

監督就任時に課せられた課題が三年で甲子園に行くことだったこと等、劇的なエピソードを交えながら、齋藤監督自身も武士道を学ぶことで己を鍛え生徒達と向き合ってきたことなどが説かれました。

「人の有り様をピラミッドの階層や海に浮かぶ氷山に当てはめてみた場合、上から技、体、心と捉え、水面下に位置する心を徹底的に鍛え大きくすれば、技術や体力はついてくる。そして、野球の神様から運を得ることができた。よく言われる「心技体」ではなく「技体心」が大事だ」という話は、実践に裏付けられた話であり説得力がありました。

生徒達の心を鍛えることに多くの時間を費やし、部員一人一人がチームのためにプレーするという姿勢は、卒業後プロ野球に進み、WBCで世界一の立役者になった卒業生をして、聖光学院野球部でプレーした当時の控え選手がいつも自分たちにパワーを送ってくれたことを思い、自分もWBCの舞台で、最高の控え選手になれたと言わしめた話は、齋藤監督の教えが各人の人生に大きな影響を与えていることを物語っており、感慨深いものがありました。

齋藤監督の熱弁は講演会に出席した方々を魅了し、盛会のうちに講演会は終了しました。

東日本大震災前、本県のコナラを中心とした広葉樹は、シイタケ原木として全国一の出荷量を誇っていました。しかし、原発事故の影響で利用が困難となったことから、原木の生産量は激減し、里山の手入れが行き届かない状況にあります。現在、広葉樹林の計画的な伐採、更新を図るため、国や県、関係団体が連携して「里山・広葉樹林再生プロジェクト」が進められています。伐採した材の利用拡大が課題となっており、シイタケ原木としての伐採時期を過ぎたコナラ材は、ほとんどがパルプ・チップ材として扱われ、建築材や家具材へ適用した例が少ないため、丸太の太さ（径級）に応じた利

○はじめに

活用方法の検討が必要です。

そこで、当センターでは、コナラ材の新たな製品として、集成フリー

板（※1）への活用の可能性を探るため、小中径木から効率的に製材、乾燥、加工する方法の検討や、それに要する経費の調査、試作製品の性能評価に森林組合や木材加工事業者の方々と連携を図りながら取り組んでいます。

○試験の方法（◆試験内容を参照）

田村市都路地区産のコナラ丸太四二本（末口径一八〇〜三〇センチ、長さ二メートル）から、板材（厚み三六ミリ）を製材し、板材の寸法と含水率（高周波式含水率計による）を測定しました。その後、AとB二つのロット（A…人工乾燥後に天然乾燥を行う、

林業研究センターだより

シイタケ原木として利用していた  
広葉樹材を有効に活用するには…

広葉樹林の更新



玉切りされた  
広葉樹材

福島県林業研究センター  
林産資源部 高 信 則 男

◆試験内容

■集成フリー板の試作  
・シイタケ原木には利用できない径級のコナラ材について、家具や建具として幅広く利用できる「集成フリー板」を福島県都路地区木材木工業団地協同組合等と連携して試作し、各工程における歩留りや乾燥手法、強度性能等の検証を行います。

コナラ原木	製材	天然乾燥	人工乾燥
製材歩留りの調査	乾燥手法の検討	乾燥後の欠点を補修加工	強度試験
集成フリー板	集成フリー板	集成フリー板	実使用環境での寸法変化（反り、ねじれ等）を調査
集成フリー板の試作と製品歩留りの調査	性能評価（強度・寸法変化等）		

B…天然乾燥後に人工乾燥を行う）に分けて、乾燥を行いました。Aは人工乾燥を二月から四月にかけて二か月間、Bは、屋内で天然乾燥を二か月間行っただけ、人工乾燥を五月から六月にかけて一か月間行い、その後、A、B共に屋内で養生（保管）を行いました。各ロットとも人工乾燥後と養生後にそれぞれ板材の寸法、含水率、乾燥によって発生した割れ等の欠点（写真1）の測定を行いました。なお、人工乾燥は、テント式乾燥機により最高温度約六〇℃で

行いました。

乾燥後の板材は、割れなどの欠点を除いて、幅三〇センチまたは四五センチに細割した後、集成フリー板に加



写真-1 コナラ板材の欠点（左：割れ、中：入皮、右：3材面に現れた節）

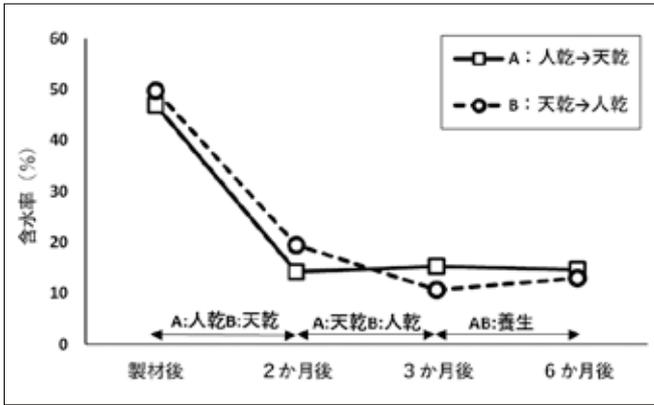


図-1 コナラ板材の含水率の推移

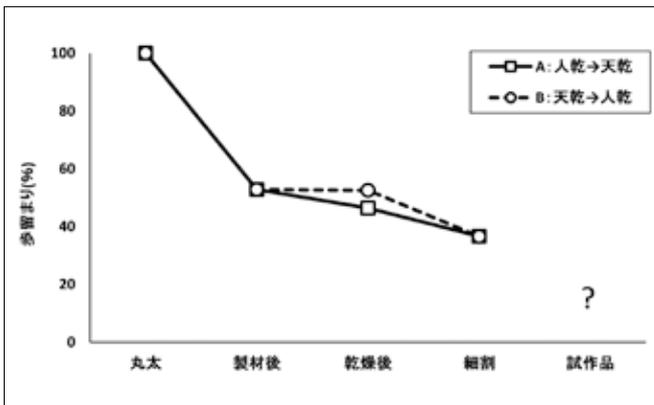


図-2 加工工程毎の歩留まりの推移

工し、製材後、乾燥後、細割後、製品加工後の材積を丸太の材積で割って、各工程における歩留まりを算出します。その後、試作したフリー板の曲げ強さや接着性能などを確認し、同等の市販品との性能を比較する予定としています。

○現在までの試験結果

集成材の日本農林規格では、製品の含水率は一五割以下とすることが定められています。含水率は、製材後は五〇割程度であり、人工乾燥後に天然乾燥、養生したAは、人工乾燥後に一四・二割まで低下し、その

後の天然乾燥、養生期間中は、ほぼ変化無く推移しました。天然乾燥後に人工乾燥を行ったBでは、二ヶ月の天然乾燥期間で一九・五割まで含水率が低下し、その後の人工乾燥後には一〇・七割まで低下しました。その後、養生期間に一三割まで、増加し、平衡含水率(※2)に近づきました(図-1)。

歩留まりについては、丸太から製材後の歩留まりは五二・八割でした。その後、人工乾燥後に天然乾燥、養生を行ったAでは、乾燥後に四六・四割となり、細割後は三六・七割と推移しました。天然乾燥後に人工乾

燥を行ったBでは乾燥後の歩留まりは五二・五割でしたが、細割後は三六・六割となり、Aとほぼ同じ歩留まりとなりました(図-2)。

現在、集成フリー板への加工を行っているところですが、製品加工後の歩留まりはさらに低くなること が想定されます。よって、今後、歩留まりを向上させるため、丸太段階での選別方法や乾燥スケジュールのさらなる検討が必要です。

○おわりに

集成フリー板の用途は、家具やテーブルの天板等に活用するのが一般的ですが、用途の一つとして、より付加価値の高いエレキギターへの活用を計画しています。これは、郡山地区木材木工業団地協同組合において、郡山市内の小学校で使った学童用机の天板(スギ材)をギター用に再加工しており、より重厚で美観に優れるコナラ材においても試作を行うものです(写真-2)。少々、重くてギターが肩に食い込むかも知れませんが、ギターリストに好評となることを期待しています。

次年度以降は、別地区のコナラ材を活用して歩留まり等のデータを収集し蓄積するほか、コナラ材に適した乾燥スケジュールの検討などを進

める予定とされています。里山の再生に向けて、広葉樹小中径材の付加価値を少しでも向上させ、ひいては森林所有者に還元できるよう研究を進めていきたいと思 います。



写真-2 コナラフリー板で試作したギターの本体(ヘッド・ネック部分はヒノキ製で、フィンガーボードはケヤキ製)

最後に本試験に係るコナラ材の製材から乾燥、フリー板の製作にあたりましては、郡山地区木材木工業団地協同組合様、ふくしま中央森林組合都路事業所様、株式会社光大様に多大なご協力を頂いていることをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

用語解説

※1 集成フリー板・木片を幅方向や長さ方向に接着して作られた集成材の板。必要な幅や長さにカットして利用できるため、様々な樹種の製品があり、ホームセンター等でも販売されています。

※2 平衡含水率・木材は周囲の環境条件(相対湿度)に応じて一定の含水率に落ち着き、日本では平均一五・二割となっています。

# 豊富な保証実績により経営をサポート 林業信用保証のご案内

## 独立行政法人農林漁業信用基金

### ◆はじめに

令和五年十一月に林野庁が公表したデータによれば、我が国の人工林の六割は、建築材料等として利用可能な時期を迎えており、豊富な資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に森林を再造成することが必要となっています。

このような中で、銀行等の融資機関においては、カーボンニュートラルやSDGs、ESG投資などに対応する動きが活発化しており、国内外の課題解決に重要な役割を果たすものとして、林業・木材産業は注目を集めています。

その一方で、林業・木材産業を営む方の多くは中小零細企業や個人であるため、自力のみでは資金調達が難しく、資金繰りに苦労されているケースが多いのが現状です。

### ◆農林漁業信用基金の強み

当信用基金は、林業・木材産業を営む方が、銀行等から融資を受けられる際の債務を保証する「林業信用保証」により、資金調達の円滑化を図っています。制度創設以来、約一七万件もの実績があり、全国各地の保証案件を東京都にある一拠点ですべて把握していることに加え、国や都道府県、関係団体との強いネットワークによって、事業者の方はもちろん、銀行等に対しても、様々な情報提供ができる強みも有しています。

### ◆林業信用保証の特長

対象となる業種は、造林・育林業、素材生産業、木材・木製品製造業（製材、木材チップ製造等）、林業種苗生産業、薪炭生産業、きのこ生産業、木材卸売・市場業、木材製品利用事業（住宅建築、家具製造等）です。

また、対象となる資金は、例えば、苗木や立木の購入費、燃料費、人件費等の運転資金、建物、林業機械及び木材加工機械の整備等のための設備資金といった林業・木材産業の事業用資金全般です。



パンフレットは当信用基金HPに掲載  
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shinyouhosyou/index.html>

本保証を提供するに当たっては、財務内容に応じて保証料をいただいておりますが、年〇・一五〜一・八〇割以内と低位です。なお、新型コロナウイルスや原油価格高騰等への対応、自然災害からの復旧、新たに林業・木材産業に参入される方への保証など、国が政策上重要と認められたものについては、最大で五年間の保証料免除が可能です。

### ◆福島県における林業信用保証

福島県については、東日本大震災の際には、復旧・復興に必要な事業資金への保証を積極的に行いました。最近では、主に素材生産業や木材・木製品製造業を営む方の運転資金への保証を行っており、令和四年度は約九、五〇〇万円の保証引受実績となっています。

### ◆おわりに

現在の我が国が森林大国となっているのは、先人のたゆまぬ努力の賜物によるものです。当信用基金は、この森林の恩恵が将来に継承されるよう、金融面からお手伝いしたいと考えています。

是非、林業信用保証の活用をご検討いただけますと幸いです。

### (お問い合わせ)

林業信用保証管理部

電話：〇三―三四三四―七八二五



# 山火事防止に努めましょう

## ～ 忘れない 山の恵みと 火の始末～

福島県森林保全課

### ○山火事が多発する季節

空気が乾燥して、山火事が起きやすい季節になりました。

例年、冬から春にかけてのこの時期は、山火事の発生が多くなります。

これは、「燃えやすいもの」が林内や林縁部に蓄積されていることと、農作業が始まり屋外で火を使う機会が多くなるのが原因と考えられます。

特にこの時期は、出火すると短時間で燃え広がりがやすすいことから、初期の対応が遅れると貴重な森林資源を大量に焼失するばかりでなく、家屋等に被害が及ぶことや市町村境、県境を越えて拡大する恐れがあります。

県内では、令和四年に発生した二六件の山火事のうちの二〇件が、一月から五月の期間に発生しています。また、令和五年三月八日には郡山市中田町と白河市小田川で大規模な山

火事が発生しました。地上からの消火活動に加え、ヘリコプターによる空からの消火も行われましたが、鎮火するまでに数日かかったことは記憶に新しいところです。

### ○山火事の発生原因

全国で令和四年に発生した山火事（林野火災）は一、二、三九件であり、その原因で最も多いのは「たき火」四五二件、次に「火入れ」二四一件、「放火の疑い」七五件などとなっております。<sup>※1</sup>

県内で令和四年に発生した二六件は、そのほとんどがたき火などからの飛び火が原因となっています。<sup>※2</sup> 山火事の発生原因は人為的要因によるものが圧倒的に多く、また、林野火災の消火には様々な困難が伴うことから、一人ひとりが出火防止の一層の徹底を図ることが重要です。

### ○山火事を発見したら

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であり、自力での消火は大変危険です。令和四年の全国の林野火災による死傷者は一〇四人となっております。<sup>※1</sup> 山火事が発生したとき、山火事を見つけた場合は、直ちに消防署へ通報するようお願いいたします。

### ○山火事を発生させないために

山火事を発生させないためにも、私たち一人ひとりが次のことに注意をして、山火事予防に取り組みましょう。

- ① 燃えやすいものがある場所では、火気の使用を控えること。
- ② 強風及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ③ やむを得ず火を使用する場合は、火気のそばを離れず、使用後は完全に消火すること。
- ④ 火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず受けるとともに、十分な実施体制をとること。
- ⑤ たばこは指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに投げ捨てないこと。
- ⑥ 火遊びはしない、させないこと。

### ○おわりに

森林は、私たちの暮らしに欠かせない水源かん養や県土の保全など、大切な役割を担っています。小さな火でもひとたび燃え広がれば、たくさんの森林を失ってしまうことになり、もとの姿に回復するまでには、何十年もの月日と多大な費用を要します。

ふくしまの豊かな森林から山火事を起こさず、次の世代へ着実に引き継ぐため、県民の皆さん一人ひとりの御協力をお願いします。

※1 総務省消防庁公表資料（令和五年十一月二十九日付け）より

※2 農林水産部 森林保全課集計



森林保険メインキャラクター たもち

### 森林保険は皆さまの森林のセーフティネット

山火事などの災害に備え、森林保険に加入しましょう。くわしくは、最寄りの森林組合、または森林組合連合会へ御相談下さい。

# 林業アカデミーふくしま研修日誌⑨

福島県林業研究センター

就業前長期研修二〇二三年最後の十二月の研修では、三回の宿泊を伴う研修や今年一年を振り返る筆記試験などを行いました。

## ○十二月の研修内容

「チェーンソー伐木造材技術」では、埴町実習フィールドで二泊三日の皆伐と造材の実習を行いました。狙った方向に伐倒すれば良いだけだった十一月の切り捨て間伐の実習とは違って、今回は集材をするため伐倒する順番と方向を考へての実習になりました。今まで経験したことのない直径五〇センチを超えるような大径木が多く、チェーンソーの刃が反対側まで届かないことに苦戦している様子でした。造材では材に対して垂直に刃を入れ、きれいな断面を作る練習を行いました。この作業一つで材の価値が変わるため、集中して取り組んでいました。また、プロセッサを使った造材も行いました。

「林内路網（森林作業道作設実習）」では、埴町実習フィールドで既存の作業道でバックホーを使って表土のすき取り、深土の掘り起こし、転圧、埋め戻し、転圧、履帯での締め固めの一連の流れを練習しました。上り坂や下り坂、法面の立木による行動の制限など、様々な状況に合わせた操作を経験することができました。

「広葉樹伐木造材技術」では、西会津町でしいたけ原木用のナラの伐採実習を行いました。枝の伸び方や幹の曲がり方などが多種多様で重心を見極めるのが非常に難しく、スギよりも材に粘りがあるため裂け上がり危険性があり、思うように伐り進めない様子でした。また、三〇センチほどの積雪もあり足場に注意しながらの作業だったため、緊張感のある良い経験になりました。

「樹木学」では、半年かけて作成した樹種図鑑を用いて樹種の同定を行いました。また、冬芽を解剖することで学びを深めることができました。

「森林・林業政策」では、森林法に基づく森林の分類や、伐採届の提出

の仕方について学びました。十二月最終日には二〇二三年の振り返りとして、筆記試験を行いました。今まで学んできたことを自分の財産にするために何度も学び直してもらえたらと思っています。

## ○研修生の感想 安田周知さん

林業アカデミーふくしまに入講して早九ヶ月。研修生も各々のスタイルが定着してきて、お互いに教え合い高め合えるようになりました。私自身も、自分でいろいろ考へては試し、聞いて失敗しては学び、学んだつもりになってはまた失敗。結果己のへぼさを一番学びジタバタしながらも、研修生、職員、講師、関係者の皆様のおかげで、毎日楽しく学ぶ事ができています。そんな環境を創り上げて頂いたことに、とても感謝しています。

十二月のアカデミーの研修は、現場を意識したかなり実践的な内容が多くありました。その中で



大径木の伐採の講評



作業道作設実習の様子

も私は、「チェーンソー伐木造材技術」の講義に力を入れました。チェーンソーの構造と伐倒の関係性や、チェーンソーを構えた時に無駄な動きを減らす段取りと身体の動かし方への疑問に対して、試行錯誤し続けています。

また技能面でも、伐木造材技術の向上に向けて、埴町でスギの大径木の伐倒や西会津町での広葉樹伐採など、現場作業の実践により、アカデミーでの練習では気づけなかった弱点や課題が浮き彫りとなり、さらなる技能の習熟が必要だと再認識しました。

残り三ヶ月と短い研修の中でも、自分のなりたい姿と現状の差を明確にし、本質を理解し見識を深められるよう、これからも日々の研修に励んでいきたいと思えます。

# 高校生林業見学会を通じた 林業就業者の確保について

福島県農中農林事務所  
林業普及指導員 掃部 康宏

## 1 はじめに

福島県の森林は、平成23年に発生した福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響で整備が停滞していましたが、ふくしま森林再生事業等の取り組みにより、森林の持つ機能が維持されているところです。県中農林事務所では、林業の担い手確保を目的として、平成29年度より高校生を対象とした林業見学会を実施してきました。本稿ではこれまでの取り組みとその成果についてご紹介します。

## 2 これまでの取組

おおむね年に1回のペースで、平成29年度から令和5年度までに合計5回開催し、合計164名の生徒が参加しました。（令和元年度は台風19号災により中止、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。）5回とも対象は福島県立岩瀬農業高等学校環境工学科の1年生です。

見学会の企画にあたっては、可能な限り伐採、玉切り、枝払い、積み込み、運搬といった一連の素材生産作業が見学できるよう、また、プロセッサやフォワーダ等多様な大型機械の作業が見学できるよう調整しました。生徒からは「大型機械で作業できるとは知らなかった」「大型機械を動かせるのは楽しそう」といった意見がありました。加えて、伐採された木材の加工の様子がイメージしやすいよう、集成材工場や、プレカット工場、チップ工場等の見学も取り入れています。

## 3 林業関連業務への就業状況

先生に伺ったところ、令和2年の春（平成29年度の最初の林業見学会に参加した生徒が就職した年）以降、毎年1名以上が林業事業体に就職、または、林業アカデミーふくしまに入講しているとのことでした。令和6年3月に卒業予定の現在の3年生（令和3年度の林業見学会に参加）は、3名が林業事業体に就職予定、2名が林業アカデミーふくしまに入講予定とのことでした。また、先生からは「林業関係に就職した生徒は1年生の時の林業見学会の印象が強く残っているようだ」とも伺っています。

## 4 今後の取組

今後も林業の業務内容が具体的に、また、魅力的に伝わるよう内容をブラッシュアップし、新規就業へつなげたいと考えています。



大型機械による木材搬出（R3）



集成材工場の見学（H29）

福島県林業労働力確保支援センターだより

# 新たな担い手確保の取組状況について

## ◎はじめに

当センターは、担い手の確保・育成・定着を目的に、事業主が行う雇用管理の改善と事業の合理化ならびに就業希望者の就業促進と技能者育成、の両面を平成十年四月の設立以来継続的に支援してきました。

今回は、今年度の新たな担い手確保のための取組内容をご紹介します。

## ◎就業ガイダンスの実施

林野庁の「緑の雇用」新規就業者育成推進事業により、全国森林組合連合会が実施している各種ガイダンスに積極的に参加しています。

相談対応には福島県森林組合連合会のご協力をいただき、森林林業の情報・林業の仕事の内容・必要な資格・事業者の情報・委託募集やハローワーク等の求人情報・緑の雇用制度・居住環境情報・移住に関する支援・各種講習会情報などを丁寧提供しています。

### ①森林の仕事ミニガイダンス(移住編)

今年度からの新たな取組として、NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する、第十九回ふるさと回帰フェア(全国約三九〇の自治体・団体などがブースを設け、約二〇、〇〇〇人が来場する国内最大級の移住マッチングフェア)に林業就業相談ブースが設けられました。

九月十七日(日)に、東京国際フォーラム(東京都千代田区)を会場として、

全国から十一県が参加しました。当日の相談者は一六八名で、うち当県への相談者は九名でした。

今後も、県の「ふくしまぐらし相談センター」及び「ふくしま十二市町村移住支援センター」と連携しながら、積極的に林業就業希望者への対応を進めていく予定です。



森林の仕事ミニガイダンスでの相談対応(東京国際フォーラム)

### ②森林の仕事ガイダンス

今年度は、東京と大阪で開催され、東京会場は十二月二日(土)に、東京国際フォーラムを会場として、全国から四四都道府県が参加しました。当日の相談者は八一八名で、うち当県への相談者は七名でした。

### ③エリアガイダンス

当センターとしては昨年度から新たに開催に取り組み、今年度は全国で三道府県がそれぞれ実施しています。

十一月十九日(日)に、ビッグパレットふくしまを会場として、福島県森林組合連合会および磐城林業協同組合を含めて県内の九事業者・団体の参加をいただきました。

当日の相談者は十名で、各事業者・団体への相談件数は四二件となりました。

## ④森林の仕事現場見学

③と同様に昨年度から取り組んでおり、今年度は全国で十一道県がそれぞれ実施しています。

十二月十六日(土)に、大玉村玉井地内で開催し、伐採作業等の見学・チェンソー体験・就業者との意見交換等を行いました。

当日の参加者は七名で、今年度から新たに発行する当センターの就業関係情報誌の記事取材も行いました。



森林の仕事現場見学での伐採作業等見学(大玉村玉井地内)

## ◎林業就業支援講習の実施

厚生労働省の農林業職場定着支援事業(林業就業支援事業)により、全国森林組合連合会が委託事業として全国で実施しています。

当センターでは、令和六年一月十六日(一)～二十一日のあいだ十二日間において、

定員十名で開催しました。

講習の内容は、林業に関する基礎知識・安全衛生講習・資格取得(チェーンソー・刈払機・小型車両系建設機械)・林業作業の実地講習・林業関係施設等の見学・職業相談で、就業に向けて大変充実したものとなっております。

## ◎その他の就業促進に対する支援

当センターでは、磐城林業協同組合との共同改善計画に基づく委託募集制度を活用し、任期付自衛官や就業相談者に求人情報を随時提供して募集活動を行っています。

また、「緑の雇用」総合ウェブサイトをRINGYOU.NETを活用したオンライン就業相談に対応しています。現時点で三名の相談に対応するとともに、インターネットハローワークの求人情報を分かりやすく編集して一覧表形式に取りまとめ掲載し、広く利用いただいています。

なお、この求人情報資料については、林業アカデミーふくしまの研修生にも随時提供し、就業先検討の資料として活用いただいています。

さらには、県林業祭の併催行事として「森林の仕事ミニガイダンス」を実施し、就業相談を行っています。

## ◎終わりに

これらの取り組みにより、今年度はこれまでに延べ五五名の方々の相談対応や情報提供を行っているところです。

今後も、福島県の林業を担う人材の確保に積極的に取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



[WOOD COLLECTION (モクコレ) 2024]



県木連展示 (木製遊具)



県木連展示 (家具・楽器)



県木連展示 (木製ドーム)



福島県木材青壮年協会いわき支部展示

令和六年一月十一日・十二日、東京ビックサイトにおいて、「WOOD COLLECTION (モクコレ) 2024」が開催され、県木連ほか木材関連企業が県産材製品等の展示PRを行いました。  
モクコレは、東京都産材をはじめ

日本各地の木材製品が集まり「植える↓育てる↓伐る↓使う」という、森林の循環への寄与を目的に、木材の需要喚起と利用拡大を推進する国産木材の展示商談会で、今回で八回目となり、三九都道府県から二九六企業・団体が出展し、総来場者数は

約五、三〇〇名でした。  
福島県ブースは、県木連・(株)オグラきこりの店・(同)良品店・南会津広葉樹流通協議会・福島県木材青壮年協会いわき支部・水野林業(株)が出展し、広葉樹を含む福島県産材を活用した様々な製品等と新製品の開発力・供給力をアピールしました。  
県木連では、江戸川ウッドテック(株)・郡山地区木材木工団地の協力をいただき、木製遊具・家具・楽器・木製ドーム・床材等を展示するとともに、会員企業の携わった優良建築物の紹介を行いました。  
今回初めて出展した(同)良品店は、無垢の角材同士をビスで留めつけパネ化する「タテログパネル」の手



(同)良品店展示 (パネルログマスターとタテログ構法の紹介)

木連だより

WOOD COLLECTION  
(モクコレ) 2024で  
県産材をPR



動式の簡易加工機械(パネルログマスター)を展示し、タテログ構法の紹介によるメイドイン福島の「タテログ」をPRしました。

木の文化を育む<sup>59</sup>

## 心躍る「コミュニティ」材木店を地域の拠点に

(株式会社正木屋材木店)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

### ○はじめに

多世代が交流できる場や一人ひとりの持つ能力を活かして活躍できる場があることは、共に生きがいを感じながら暮らす地域づくりにつながります。コミュニティの必要性や活性化が求められている今日、地域の誰もが居場所と役割を持ち、ヒト、モノ、さまざまな地域の文化を循環させることが、地域の活力となり経済の活性化にもつながります。

### ○木材の可能性を追求

大正四年創業、株式会社正木屋材木店（いわき市）の四代目代表取締役社長 大平宏之さんは、これまであらゆる木材の可能性を追求してきました。歴史ある木材店のあり方を継承しながら、木を通して、ヒト、家、モノ、場所、暮らしなど、地域の発信基地として、地域の人と共にわくわくする未来を創造しながらさらなる木材の可能性を追求し、十年のビジョンを掲げています。

### ○山から社会をつなぐ

「山から社会をつなぐサイクルをつくり、地域社会や環境の保全に貢献しながら木材を利用することで、仕事が生まれ技術や伝統を伝承する力となると共に、いわき市を元気づけてくれます。」と大平さん。材木店として国内外問わず常時多品種の材木を在庫し扱うほか、地域社会とのつながりを常に視野に入れながら、わくわくする未来を創造しています。

### ○いわき家ナビ

大平さんは、いわき市及び近郊の地域限定住宅ポータルサイト「いわき家ナビ」を立ち上げ、顧客である建築会社の住宅事例を一般に向けて発信しています。地域の風土特性を反映した最新の家づくりは、地域経済を循環し、長年培ってきた家作りの技術を次世代へ継承することにもなります。「地元の木を使うことは、私たちがその麓に暮らす山々を健やかに循環させることにもなります。」と大平さん。

### ○国産ヒノキの「かみだな」

東日本大震災後、いわき市内仮設住宅にちゃぶ台を配る、ちゃぶ台プロジェクトの際に、住民から「仮設住宅には神棚がない」との声を聞いたことで、心の拠り所となるコンパクトな神棚「かみだな」を開発しました。二〇一二年の販売当初から国内外の媒体で話題となり、二〇一四年と二〇一七年にグッドデザイン賞、JIDインテリアプロダクト賞を受賞しています。

### ○木の体感スペース「MUKUROOM」

正木屋材木店内にある「MUKUROOM」は、木の体感ショールームとして二〇一八年にオープンしました。無垢内外装材、一枚板、カッティングボード等が体感できる展示場となっており、レジテーブルや地域材を扱った木製品の他、無垢材のフローリングの展示・販売、市民向けのワークショップの場にもなっています。フローリングは約七〇種類を一八〇〇mm×九〇〇mmの大きなサイズで比較検討できることから、仕事やお客様との打ち合わせの場にもなっています。

### ○レジンテーブルの開発

無垢一枚板や木工品のオリジナルブランド「Soki」(ソキ)の中でも、特に最新の技術を取り入れた美しいレジンテーブルは人気があり、大変好評を得ています。レジンには大豆

主成分のカナダ製のエコポキシ樹脂を使用しており、サステイナブルな一枚板となっております。樹種、寸法、仕上げ等オーダーでも受付けており、無垢材を使用したアウトドア製品の開発・販売もしています。

### ○正木屋DIY部

正木屋材木店では、三ヶ月に一度DIY教室を開催し、これまでにリビングボックス、スピーカー、万能チェアー、クスノキツリー、一枚板カフェテーブル等を製作しました。コロナ禍で開催を中止していましたが、二〇二三年より再開し、老若男女が楽しく参加しています。

### ○まとめ

二〇二四年夏には、既存倉庫二〇平方メートルを改修したショップ&コミュニティスペースがオープンします！貴方もぜひ足を運んでみませんか。



レジンテーブルを製作する大平社長



Instagram: soki\_masakiya

## 県森連いわき共販における木材市況（1月分）

令和6年2月1日  
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材					
樹種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下			
		10-13	14.0	13.5				13-14			
		24上	12.7	12.4				16上			
	3.65	16上				クリ	4.00	16上			
		24上	13.5	13.0			3.00	16上			
	3.00	9下	10.2	8.0		モミ	4.00	20上			
		10-13	12.0	11.5							
		14-16	12.3	11.5							
		18-20	16.0	14.2							
	6.00	22上	15.5	14.5		<b>市況概要と市況展望</b>					
16-20					2月の共販日  入荷は良好です。販売量は3,651㎡（前年同月比86%）でした。 市況は、スギ3.00m柱材、中目材ともに若干落ち着いてきました。スギ3.65m、4.00m材も同じ状況です。 スギ3.00m、4.00m小径材は入荷量が少なく活発に取り引きされていますので出材方よろしくお願い致します。						
2.00	16上	7.5	6.0	<b>行事とお知らせ</b>  県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。  福島県森林組合連合会 木材市況 <input type="button" value="検索"/>							
ヒノキ	4.00	10-13									7日水 16日金 27日火
		14-16	15.0	14.5							
		18-20	20.2	19.5							
		22上	21.3	20.0							
3.00	16-20	16.2	15.3	県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。  福島県森林組合連合会 木材市況 <input type="button" value="検索"/>							
	4.80	18-22									
アカマツ	4.00	18-22			県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。  福島県森林組合連合会 木材市況 <input type="button" value="検索"/>						
		24上	11.0	10.6							
	3.00	16-22									
		24上	10.5	10.0							

相双に来てまもなく、先輩方に美味しいお店を尋ねたところ「あの店のキクラゲ定食が人気だよ」と紹介されたのが南相馬市にある、尚ちゃんラーメン。寄ってみれば、ここは昼時になるといつも駐車場が満車になっている人気店。人気店の中でも人気というキクラゲ定食とは何ぞや。私は特用林産の担当になったものの、キクラゲの食べ方は中華で使われる程度にしか知りません。しかし、相双管内ではシイタケの収穫前の時期に栽培できることで人気があるキクラゲ。直売所でもよく見かけ、普及指導にあたっては「どうやって食べますか？」に対して魅力のある返答ができるようになりたいところ。そこで夕食に足をのぼしてみました。

キクラゲは木耳と書き、メニュー表には「木耳肉定食」と記載されています。知らなければ木の耳を頼もうとする人は居ないでしょうが、傍から聞こえるお客さんの注文内容はキクラゲ定食がとても多かったです。見事に店内メニュー人気二位を



### キクラゲを知る

福島県相双農林事務所 齋藤 息吹

誇っており、私が頼んですぐにその日のキクラゲ定食は完売となりました。いざ実食すると、確かに美味しい。キクラゲのプルプル食感をメインに据えて、柔らかい豚バラの旨味に満足感。ふわりと仕上げた卵は口当たりよく、甘い玉ねぎがシャキッと食べ応えの締りを与えてくれる。これらを中華あんが見事に伸介し、米が進む一品に仕上がっていました。どの食材にも欠けてはほしくないバランス感、特にキクラゲの活かし方を体感し知見が深まる一食でした。立ち寄る機会があれば是非おすすめしておきます。



尚ちゃんラーメンの木耳肉定食

はなしの  
ひろば

同居人

焼津産まぐろ節、北海道産はたて貝柱に鮭、焼きかつおに蒸しかつお等、これは全てキャットフードである。じっくり目を向けると、人目線のこの表記にえらく感心する。多種多様なペットフードだが、(一社)ペットフード協会があるし、農水省では「ペットフード安全法」も制定している。愛が動物の健康を考えて、ペットフードは、こんなにも法で守られているのかと初めて知った。

さて、二月は「猫の日」(二三日)がある。猫は不思議によくできていて、猫好きの筆者だから欲目でみえるのだろうか、自分の歳を重ねれば重ねるほど、強く感じるようになってきた。猫と長く暮らしていると、お互いの性格によって、日常でのほどよい間のとりかたが身についてくる。そして、その距離感が心地よいと思えるようになってくると、これも人目線だが、もうすでに、猫は、ペットから同居人になる。猫は、自己中心的といわれるが、我が家の七匹の猫たちは、みなそれぞれ、人との暮らしをそれなりに上手に交わしていたような気がする。今、我が家に残る一匹の老猫は、さすがに遠出はしなくなつたが、自分の縄張りの偵察に、一日三回決まった時間に、家の周囲をテツテコ、テツテコと一回りしてくるのがルーティンだ。そして、戻ってくると「異常なし」と得意気にこちらに目線を投げ、シーフードミックス味のおやつを、喉を鳴らして美味しそうに食べる。

こんな同居人(猫)といつまでもいつまでも、永く暮らしていきたいと願う、小さな春の月である。(都)

表紙の写真



「しなる耐震木」

第20回ふくしま森林・林業写真コンクール特別賞(一般の部)/(一財)福島県林業会館理事長賞受賞者 澁谷謙治さん(福島市)  
撮影場所:南会津町館岩地区  
コメント:耐震構造用建材に適していると言われる。そのしなやかさが今回の撮影で感じとれた。

編集	福島県内四森林管理署
発行人	福島県森林・林業・緑化協会
発行	福島県森林組合連合会
	福島県木材協同組合連合会
	福島県農林種苗農業協同組合
	ふくしま緑の森づくり公社
	森林研究整備機構福島水源林整備事務所
	福島県森林・林業・緑化協会
	(福島市中町五番一八号県林業会館内)
発行人	飯沼隆
	陽光社印刷株式会社
	(定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

第38回ふくしま緑の写真コンクール表彰式開催

緑の素晴らしさ、大切さを広めていくため1985年に選定しました「ふくしま緑の百景」を中心に豊かな自然を題材として募集を行った「第38回ふくしま緑の写真コンクール」の表彰式が昨年12月2日(土)に福島民報社において行われました。

今回も、県内各地より幅広い年齢層の皆様から570点に及ぶ多数のご応募をいただきました。どの作品も、奥山から里山の森林や動植物、家族での身近な公園散策など、四季折々の素晴らしい一瞬を切り取られ、緑へ寄せる熱い想い、ふるさとへの深い慈しみを感じることでできる力作です。

特選及び金賞の受賞者及び作品は次のとおりです。また、銀賞、銅賞、入選、佳作まで全52点については、福島県森林・林業・緑化協会のホームページにカラーで掲載しております。下記二次元コードよりアクセスできますので、是非ご覧ください。



特選の表彰を受ける小柳さん

賞	氏名	住所	テーマ
特選	小柳 光市	郡山市	朝光りに輝く
金賞	齋藤 俊典	福島市	スポットライト
	吉田 浩子	いわき市	早く大きくな～れ
	森藤 哲良	伊達市	雪の竹林
	古川 裕子	西郷村	また来たよ
	星野 学	北塩原村	森林を流れる



各写真掲載ページ



特選「朝光りに輝く」

※上記含め銀賞等全52作品については、当協会ホームページをご覧ください。

# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



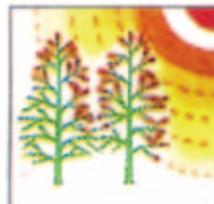
## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



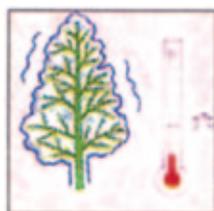
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)  
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ  
グラップルプロセッサ

# GP-35B

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

**イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



( 仙台支店 ) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6  
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699  
( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1  
( 支店 ) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



# 東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245  
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



## 人と共に 緑と共に

*For Professional*



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

*For Professional*



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

### (有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1